

バイオスティミュラントの開発

新規農業資材バイオスティミュラントによる健全な植物の育成

【背景・目的】

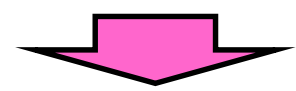
気候変動によると思われる温暖化が深刻化しており、高温、乾燥化による生育障害及び品質の低下、病害虫の発生様相の変化や新たな病害の発生が問題になっています。

そこで、植物へのストレスを緩和し、植物が本来備えている能力を引き出すことで、健全な植物を育成するバイオスティミュラントを開発しました。

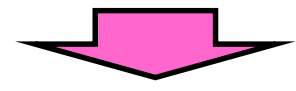
【成果の内容】

1 バイオスティミュラントの開発

微量元素、有機成分、食品添加物など植物の健全な生育を助ける原料を検討



安心安全な成分を用いてカクテルを作製

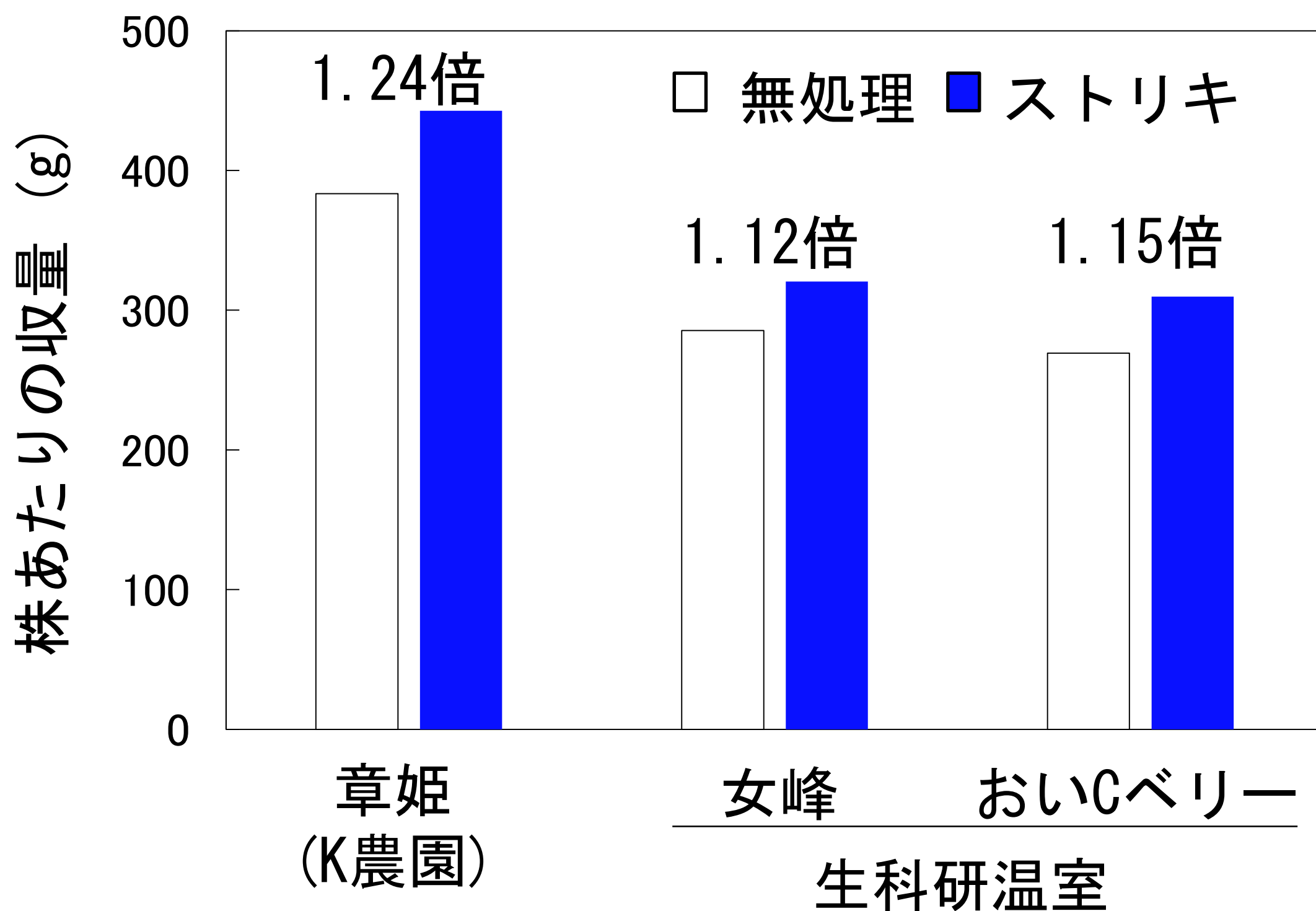


植物の活力を高めて環境ストレスや病気に負けない植物を育成するバイオスティミュラントの完成



ストロングリキッド（通称ストリキ）の商品化
 （特許第6634325号、特許第 6713117号、特願2020-080169）

3 イチゴ収量の向上効果



2週間おきにストリキを散布し収量を調査しました。その結果、ストリキ処理により収量が向上しました。



“ストリキ”は作物の健全な成長を助ける!



供給 JAグループ 全農 製造 KCC 片倉コープアグリ株式会社 <http://www.kakuraco-agri.com>

2 イチゴ挿し苗の活着促進効果

対照区



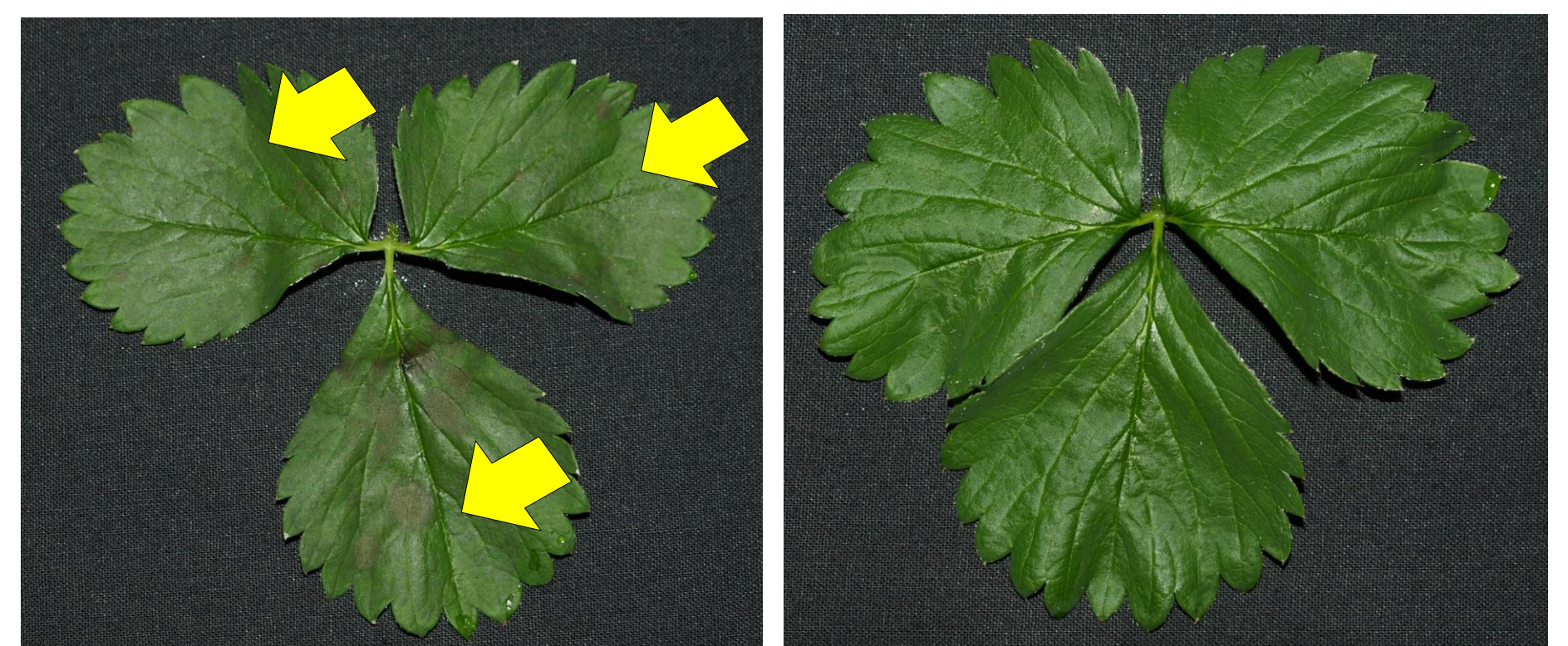
ストリキ区



1週間おきにストリキを3回散布し、採苗時にストリキにどぶ漬けして挿し苗しました。ストリキ処理により根の活着が促進しました。

イチゴは“苗半作”といわれるほど育苗は重要な作業であり、本資材は苗の健全な育成を促進しました。

4 健全なイチゴの育成



散布無し
(発病)

ストリキ散布
(健全)

ストリキを散布したイチゴは健全率が高くなりました。

お問い合わせ先

岡山県農林水産総合センター 生物科学研究所
 加賀郡吉備中央町吉川7549-1

TEL. 0866-56-9450